



2017年11月22日

各 位

会 社 名 塩野義製薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 手代木 功
(コード番号 4507 東証第一部)
問 合 せ 先 広 報 部 長 高木 浩樹
TEL (06) 6202-2161

抗 HIV 治療における 2 剤維持療法薬 Juluca® (ドルテグラビル/リルピピリン配合錠) の 米国承認に関する ViiV 社の発表について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は、当社が GlaxoSmithKline plc.および Pfizer Inc.とともに資本参加している ViiV Healthcare Ltd.（本社：英国ロンドン、Chief Executive Officer：Deborah Waterhouse、以下「ViiV 社」）が、HIV インテグラーゼ阻害薬ドルテグラビル（ViiV 社）と非核酸系逆転写酵素阻害薬リルピピリン（Janssen Therapeutics 社）の 2 剤配合錠（製品名 Juluca®）について、米国食品医薬品局（FDA）が 2017 年 11 月 21 日（米国現地時間）付で、抗 HIV 治療における維持療法として承認したことをプレスリリースしましたので、お知らせいたします。

これまでの抗 HIV 療法の発展により、HIV に感染された方々は早期に 3 剤以上の治療薬の服用を開始することでエイズの発症を軽減し、長期の服用により HIV 非感染者に近い余命を期待できるようになりました。このたびの Juluca®の承認は世界初の 2 剤のみによる抗 HIV 療法であり、医療従事者と HIV 感染者の方々に、長期間にわたり治療薬の総曝露を軽減できる新たな治療選択肢を提供することが可能となります。

Juluca®は、2017 年 12 月 11 日に米国の薬局において入手可能となる見込みです。また、ViiV 社は、欧州、カナダ、オーストラリアおよびスイスにおいても本薬の承認申請を実施済みです。さらに ViiV 社は、初めて抗 HIV 療法を受ける感染者向けのドルテグラビルとラミブジンの経口配合剤、継続および新規療法としてのカボテグラビルとリルピピリンの持続型注射剤の第Ⅲ相臨床試験を実施中です。

塩野義製薬は ViiV 社の株主として、世界中の HIV 感染者の皆さまに継続的に新たな治療選択肢が提供されることを期待するとともに、今後も同社の経営に参画することで、抗 HIV 治療におけるドルテグラビル関連化合物の価値最大化に貢献してまいります。

なお、詳細については、[ViiV 社のプレスリリース](#)をご参照ください。

以上

[お問合せ先]

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6209-7885 FAX : 06-6229-9596